金沢版地域包括ケアシステム推進協議会（第4回）	資料１
平成25年12月18日	

第２回及び第３回で積み残された課題について

この資料は、第２回及び第３回の論点のうち事務局で議論をお願いしたい項目について整理したもの

論点

（在宅医療について）

○　医療機関が比較的多いという金沢の特性を活かすため、病院に勤務する医師・看護師等に在宅医療に関する理解を深めてもらうなど、在宅医療を推進していく環境づくりを進めていくべきではないか。

○　将来にわたって在宅医療の担い手を確保していくため、かかりつけ医の負担軽減に向けた何らかの方策を検討していくべきではないか。

（多職種間の情報共有について）

○　地域における介護・医療等に関する社会資源にどのようなものがあるか、関係者間で共有する取組みとして社会資源マップの作成が有効であるが、登載する情報に共有する範囲についてどのように考えるか。

（地域包括支援センターの機能強化について）

○　高齢者に対する総合相談及び継続的支援を担う機関としては、既に地域包括支援センターが各日常生活圏域に設置されているところであるが、今後、在宅ケアを希望する高齢者に対するワンストップの相談窓口として機能するために、どのような面での機能強化が必要になると考えられるか。